

今は、歴史の1ページ、そして新たな歴史の1ページを! 理事長 飯野順子

令和2年度は、歴史の際立った1ページとして、深く刻み込まれるでしょう。これまでの人類の歴史は、年月を隔てていますが、感染症との闘いの歴史だったことを、新型コロナウイルス感染症の事実を通して学びました。その年輪のようなサイクルの中に、今、私たちは組み込まれているのです。いつ終息するかと思案しつつも、まさか、こんな状況を迎えるとは、思ってもみないことでした。

訪問カレッジも、時を刻んで9年目です。当初、6人から、令和2年度は、3人の新入生をお迎えして、学生21名、学習支援員20名でスタートしました。順調に進むと思っておりましたが、4月7日に「緊急事態宣言」が発出され、「訪問カレッジ」の活動も休止しました。そして、7月になり、いよいよ始めようとしていたところ、東京都の感染者数の100名超えによって、9月からの開始に変更した方が、数名いました。新型コロナウイルス感染症は、心理的にも、前に進めないような壁があるのです。

このような中でも、新しい試みがありました。それは、オンライン授業です。その一人磯野祐希さんは、オンライン入学式を行いました。オンラインの手法でいけば、友達が増え、世界が広がります。現在、「訪問カレッジ」は11か所に増えて、ネットワーク化しています。そこに学ぶ学生とのオンライン授業も試行したいなど、夢が広がりました。

その磯野さんのお母さんから、いただいたお祝いメッセージです。

「訪問カレッジに入学して」

小中高と訪問学級で学んできて、そのまま色々と学べる場があればと願ってきました。

祐希は双子の妹として授かりました。上の姉は大学生になり学べる環境があり、祐希にも同じように、形は違えど、学べるチャンス頂き、とても感謝しています。訪問カレッジでは、興味がある事などをたくさん発見していけたらと思っています。機会があればカレッジの他のお友達とも交流できたら嬉しいなと思います。

「訪問カレッジ」は、まだ制度化されていないなど、ある意味でささやかな活動でもあります。しかしながら、お母さんのことばにある「形が違う、学べるチャンス」は、お姉さんの大学にも匹敵する重みのある活動だと、意を強くしました。

私たちは、「訪問カレッジ」の活動を積み重ね、障害の重い方々の生涯学習の場として正式に認知されるよう、その歴史を創りたいと思っています。その日が一日でも早く来るようにと願っています。

年度	在籍者	気管切開	人工呼吸器	酸素療法	吸引	経鼻胃管	胃瘻腸瘻	I V H	人工肛門
平24	6	3	3	3	5	5	1	1	1
25	10	6	6	5	9	6	3	1	1
26	11	7	7	5	10	7	5	2	2
27	11	8	7	5	10	4	3	2	3
28	10	8	7	5	9	4	3	1	2
29	12	8	7	5	9	4	4	1	2
30	15	10	9	7	11	7	4	1	2
令元	19	13	12	9	15	9	6	1	2
2	21	14	13	10	16	10	7	0	1

訪問カレッジ通信「やまびこ」は、6月と12月の年2回発行を予定していますが、この度の新型コロナウイルス感染症の影響により、発行日が8月になりましたこと、ご了承願います。

2020年度 新入学生紹介

2020年度の春、新入生が3名入学されました。
進級された18名と合わせて、本年度は21名の学生が学んでいます。



岡野兼大さん (令和2年度入学生)



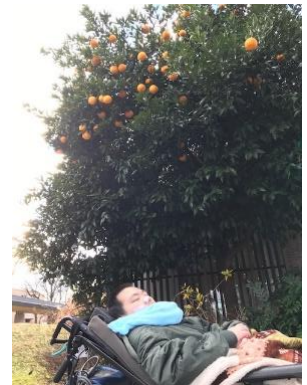
入学式の日、岡野君は緊張してました。飯野理事長から、本の読み聞かせがあり「感謝を表すことの大切さ」が話され、「お母さんに、ありがとうって言いましょ」と促されると、口を動かす様子がありました。(さすが大学生。中学生のころとは違うなと元担任は感心しました。)
「大学では、単位が取れないとダメなんだよ」と少し脅かすと、表情が一変。口が尖がってしまいました。「エエエ〜。大変なの嫌だな!」と言っているようです。カレッジでは、いろいろな創作活動をしましょ。iPad スイッチにも取り組んでみましょ。

そして、好きなものをいっぱい増やして、カレッジ生活を楽しみましょね。

レッスンの授業を開始できました。入学式は翌週にオンラインで実施。飯野先生や、元担任2名のお祝いメッセージに、じっと耳を澄まし、好きだった「春に」の歌なども歌い、お母さんや双子のお姉さんが見守る中、無事に式を終えることができました。6月からは対面授業ができ、国語では歌付きの短歌(石川啄木)、音楽では「エーデルワイス」を学習しています。

絵筆で繊細に「エーデルワイス」を描くなど、早速生き生きと学習に臨んでいます。カレッジの皆さんにお会いできる機会を、楽しみにしています。

武田承達さん (令和2年度入学生)



磯野祐希さん (令和2年度入学生)



この3月に、都立光明学園を卒業しました。双子のお姉さんと共に大学生になれたことをとても喜んでいます。連休明けからオンライン授業により、訪問カ

2018年3月 都立小平特別支援学校高等部卒業。20歳です。高等部卒業後は、通所に通っていましたが、この4月から希林館の仲間入りをさせていただきました。

といっても、このコロナの状況下、いまだ授業どころか入学式も行えておりません(7月8日現在)。まずは、早く授業が出来るようになることを願うばかりです。野球が大好きで巨人のファンです。プロ野球も開幕。授業では、プロ野球の話も楽しみです。歌も大好きです。ゆずなどお気に入りのアーティストもいます。週に1度の時間を楽しみにして、充実した時間を過ごしたいと思います。

どうぞよろしくお願ひいたします。

学びの風景

伊藤海さん（平成30年度入学生）



2020年2月22日 20歳誕生日
（青梅市立病院、くまのもりで誕生日会）



『明日天気にしておくれ』
歌いました♪

『誕生日ケーキ』
いっぱい食べた。
おいしかった～。

森 岳大さん（平成30年度入学生）



6月半ば、5カ月ぶりの訪問でしたが、マスク姿に関わらず「おっ、来たの？」という表情で迎えてくれました。感染防止のために、できるだけ接触を減らしての学習になりましたが、雨にちなんだ曲に合わせてカラフルな傘を目の前で動かすと、にっこりと笑顔を見せてくれました。ゆったりとした曲に合わせての身体の手組みは身体力をふっと抜い

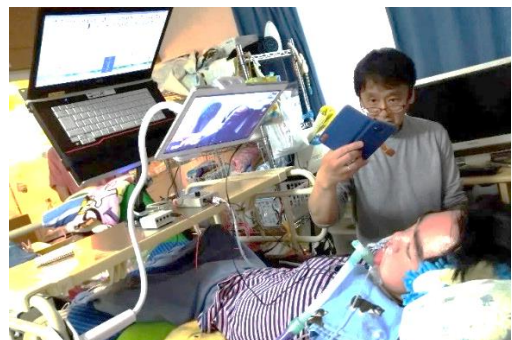
て、心地よさそうな表情を見せてくれます。本読みも好きな活動で、大きな瞳で本をジッと見つめてくれます。体調に合わせての学習は多くの回数を行うことはできませんが、その日の体調に寄り添いながら楽しめること、心安らぐことを積み重ねていきたいです。いつも細心の注意を払って訪問を向かい入れてくださるお母様に、感謝するばかりです。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19） が広まる中での学びの支援

2020年4月7日の政府による緊急事態宣言発令から5月25日の解除まで、訪問カレッジでは対面の授業は中止しておりました。

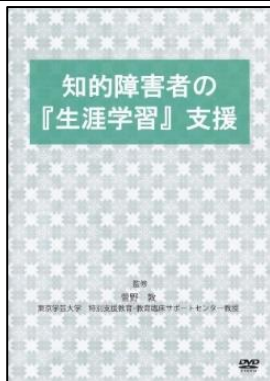
5月の大型連休明けから、通常の大学でもオンライン授業が試行錯誤しながら始まり、訪問カレッジでも学生・ご家族の希望と通信機器の環境を勘案しながら、オンライン授業を開始しました。オンライン授業で使用するビデオ通話には、「Zoom」「Skype」「Teams」「Messenger」「Google Meet」「FaceTime」などなど世の中には実にたくさんの種類があり、みなさんそれぞれにチャレンジされています。

6月からはご家族と相談の上、対面授業を再開しましたが、入所施設・病院等ではご家族の面会も制限されている状況にあり、当面、オンライン授業を継続される方もいます。また、第二波の備えも必要です。6月久しぶりの対面授業の際に、本人が利用しているパソコンにDropboxで学習支援員の自宅パソコンと同期できる共有フォルダの設定を行いました。これで第二波が来てオンライン授業になった場合でも、よりスムーズな学習が期待されます。



DVD「知的障害者の『生涯学習』支援」紹介

「通信 やまびこ 第10号」で紹介しました障害のある方の生涯学習をテーマにしたDVDが「知的障害者の『生涯学習』支援」というタイトルで株式会社アローウィンから2020年1月に発売されました。



本学の岩村和斗さんが学んでいる様子やインタビューに答えている映像が含まれています。生涯学習の理解と普及啓発につながることを願います。

「共に学び、生きる共生社会コンファレンス」

2020年2月24日 文部科学省主催「共に学び生きる共生社会コンファレンス」が開催され、私どもは午後の第5分科会「エンパワーメントに向けた学びのアウトリーチ」の運営を担当しました。



Youtube 動画 <https://youtu.be/tJpNYL3DLQw>

全国重症心身障害児(者)を守る会機関誌 「両親の集い」

2020年1月1日の朝日新聞「声」欄のテーマ

は、「今年こそは」でした。この「声」の欄に山本利恵さんが書かれた投書「声を文字に託し 小説を構想中」が掲載されました。

そして、4月には、「両親の集い」に「私らしく生きる」が掲載されました。山本さんの「今年こそは」の願いに近づくと一歩になりました。



公益財団法人伊藤忠記念財団「わいわい文庫活用術⑧」

病気や障害のために読みに困難がある方の読書支援として、パソコンやタブレットで読書するスタイルを無償で提供している「わいわい文庫」の活動があります。佐藤友哉さんが、どのように読書に活用しているのか、「わいわい文庫活用術⑧」に掲載



していただきました。伊藤忠記念財団のホームページにも掲載されていますので、ご覧ください。

本年度の訪問カレッジ文化フェスタについて

年に1回、学生による学びの発表や作品展、コンサート鑑賞などを行う訪問カレッジ文化フェスタですが、新型コロナウイルス感染症による影響で、残念ですが、本年度は中止とします。来年度開催できることを願っております。

「賛助会員」の募集

1 賛助会員の年会費は

- ・個人 一口 3,000円
- ・団体・法人 一口 10,000円 です。(何口でも構いません)

2 ご賛同いただける場合は、振込用紙をご利用いただき、郵便振替口座にお振り込み下さい。

3 「訪問カレッジ通信『やまびこ』」を年2回発行し、お届けします。

※会費は、フォーラム、文化フェスタ、通信の印刷・送料に充てさせていただきます。

賛助会員数 個人69名 団体6 (2020.7.15 現在)

【振替口座】

口座名 トクヒ) チキケアサポートケンキュウショ
口座番号 00110-2-616037